

## **AXIS Body Worn Live Axis-hosted**

**ユーザーマニュアル**

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## AXIS Body Worn Liveとは

---

### AXIS Body Worn Liveとは

AXIS Body Worn Liveを使用すると、装着式カメラのユーザーはWi-Fi®またはモバイルネットワークを介してライブ映像と音声をストリーミングできます。オペレーターはライブ映像を表示し、ストリームを見ていることをカメラユーザーに知らせることができます。マップビューでは、オペレーターは現在ライブビデオをストリーミングしているカメラの位置を表示できます。ビデオストリームは安全に送信できるよう、暗号化されます。

AXIS Body Worn Liveを設定する際は、次の2つのホスティングオプションがあります。

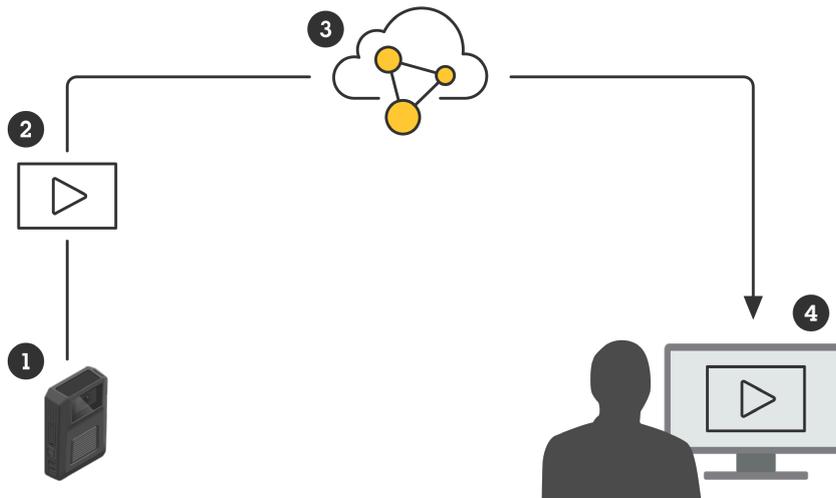
 **Axis-hosted** – Axisクラウド上で運用される。

 **Self-hosted** – ユーザーの環境で運用される。

このマニュアルは、**Axis-hosted** オプションの設定と使用を支援します。

Self-hostedオプションの設定手順については、*AXIS Body Worn Live Self-hosted ユーザーマニュアル*を参照してください。

### ソリューションの概要



- 1 装着式カメラ
- 2 ライブストリーム (エンドツーエンド暗号化)
- 3 Axisがホストするクラウド
- 4 Webクライアント

AXIS Body Worn Liveを使用すると、装着式カメラ (1) がライブ映像 (2) をクラウド (3) 経由でWebクライアント (4) にストリーミングします。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 使用に当たって

### 使用に当たって

AXIS Body Worn Liveにライブストリーミングするには、以下の手順をすべて実行する必要があります。

1. 3 ページ時刻の同期
2. 3 ページMy Axisアカウントを作成する
3. 3 ページ装着式システムをAXIS Body Worn Liveに接続する
4. 4 ページエンドツーエンド暗号化を有効にする
5. 5 ページライブストリーミングを有効にする
6. ストリーミングにWi-Fiを使用する場合： 5 ページWi-Fiネットワークを追加する
7. Genetec™Security Centerの内蔵ブラウザでAXIS Body Worn Liveを使用する場合： 7 ページGenetec™Security Centerでデフォルトのブラウザを変更します。

### 時刻の同期

#### 重要

- AXIS Body Worn Liveストリームの表示に使用するブラウザは、数秒の違いがあるかもしれませんが、装着式システムと同じ時間である必要があります。
- AXIS Body Worn Liveは、システムとクライアント間の時間が同期していない場合、ビデオストリーミングを停止します。
- AXIS Body Worn Liveストリームの表示に使用するコンピューターでは、装着式システムと同じNTPサーバーと時間設定を使用することをお勧めします。

AXIS Body Worn Managerで日時の設定を確認するには、[Settings (設定) 

### My Axisアカウントを作成する

My Axisアカウントを使用すると、My Systemsにアクセスして、AXIS Body Worn Liveなどのクラウドベースのシステムやサービスを利用できます。すでにMy Axisアカウントをお持ちの場合は、この手順を省略できます。

1. My Axis – Create Account (アカウントの作成)に移動します。
2. 情報を入力し、[CREATE ACCOUNT (アカウントの作成)] をクリックします。

### 装着式システムをAXIS Body Worn Liveに接続する

#### 注

装着式システムにAXIS W100またはAXIS W101装着式カメラが含まれている場合で、これが北米以外の場所に設置されている場合は、ライブストリーミングが最適に機能するように、カメラのすべてのワイヤレスネットワークチャンネルをオンにする必要があります。AXIS Body Worn Liveに接続する前に、Axisサポート (bodywornlive.support@axis.com) に連絡し、システムのIDと設置国をお知らせください。Axisサポートは、装着式カメラに必要なワイヤレスチャンネルを有効にします。

1. AXIS Body Worn Managerで、[Add-on services アドオンサービス] 

3

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 使用に当たって

---

2. [Cloud (クラウド)] をクリックします。
3. [インストール] をクリックします。
4. 使用許諾契約書に同意します。
5. お使いのMy Axisアカウントにログインします。
6. [Organization (組織)] で、[+ Create new organization (+ 組織の新規作成)] を選択します。組織全体の組織所有者になります。また、管理者権限も取得します。「9ページ組織」および「9ページユーザー権限」を参照してください。
7. [Storage location (保存先)] で、証拠データを保存する国を選択します。証拠データの詳細については、10ページ証拠データとメタデータを参照してください。
8. AXIS Body Worn Managerに移動し、認証コードをコピーします。
9. 認証手順に戻り、コードを貼り付けます。
10. Finish (終了) をクリックします。

AXIS Body Worn Liveの30日間試用ライセンスが自動的に有効になります。

## エンドツーエンド暗号化を有効にする

エンドツーエンドの暗号化により、装着式カメラと AXIS Body Worn Liveとの間で安全な通信が保たれます。9ページエンドツーエンドの暗号化に、その仕組みやさまざまなオプションの詳細および具体的な例が記載されています。

1. AXIS Body Worn Liveを使用しているコンピューターとブラウザで、AXIS Body Worn Liveにアクセスし、My Axisアカウント情報を使用してサインインします。
2. 正しい組織を選択してください。
3. [Settings (設定)] に移動します。
4. [Generate keys (鍵の生成)] をクリックします。
5. 秘密鍵を複数のコンピューターやブラウザで再利用する場合は、ダウンロードをクリックします。鍵の再利用については、10ページ暗号化キーの再利用を参照してください。
6. [Copy public key (公開鍵をコピー)] をクリックします。鍵はクリップボードにコピーされます。
7. AXIS Body Worn Managerで、[Add-on services (アドオンサービス) - 8. [Public keys (公開鍵)] で、[Add (追加)] をクリックします。
- 9. 鍵の用途をすぐに思い出せるような名前を入力します。
- 10. クリップボードから公開鍵を貼り付けます。

AXIS Body Worn Managerは、カメラをドッキングした時点で公開鍵をカメラに配布します。

## 複数クライアントでの秘密鍵の再利用

AXIS Body Worn Liveストリームの視聴に異なるコンピューターを使用しているオペレーターが存在する場合は、秘密鍵を再利用することで、エンドツーエンドの暗号化に関連する管理を最小限に抑えることができます。詳細と例については、10ページ暗号化キーの再利用を参照してください。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 使用に当たって

### 注

すでに鍵を生成している場合は、鍵をインポートする前に、 をクリックします。

1. AXIS BodyWorn Liveを使用しているコンピューターとブラウザで、*AXIS Body Worn Live*にアクセスし、My Axisアカウント情報を使用してサインインします。
2. [Settings (設定)] に移動します。
3. [Import keys (キーのインポート)] をクリックします。
4. エンドツーエンド暗号化の有効化時に生成およびダウンロードした鍵を参照して選択します。

### エンドツーエンド暗号化を確認する(オプション)

公開鍵には公開鍵拇印があり、これを使用してエンドツーエンドの暗号化を検証することができます。公開鍵拇印は、AXIS Body Worn ManagerとAXIS Body Worn Liveの両方で確認することが可能です。エンドツーエンド暗号化を確認するには、これら2つの拇印を比較し、同じであることを確認します。

AXIS Body Worn Managerでは、公開鍵拇印は [Add-on services (アドオンサービス)  ] > [AXIS Body Worn Live] の公開鍵リストにあります。

AXIS Body Worn Liveでは、公開鍵拇印は [Settings (設定)] > [End-to-end encryption (エンドツーエンド暗号化)] にあります。

### ライブストリーミングを有効にする

使用するライセンスの数を最小限に抑えるために、ライブストリーミング専用のカメラプロファイルを用意することをお勧めします。9 ページライセンスを参照してください

1. AXIS Body Worn Managerを開きます。
2. [Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動します。
3. AXIS Body Worn Live で、[Streaming (ストリーミング)] をオンにします。

### Wi-Fiネットワークを追加する

#### 注

カメラにSIMカードがあり、モバイルネットワークのみを使用している場合は、Wi-Fiネットワークを追加して割り当てる必要はありません。

ビデオをストリーミングするには、装着式カメラをWi-Fiネットワークまたはモバイルネットワークに接続する必要があります。Wi-Fiネットワークの場合、装着式カメラはカメラユーザーに割り当てられたネットワークを使用します。Wi-Fiネットワークは、カメラプロファイルを介してカメラユーザーに割り当てるか、またはカメラユーザーに直接割り当てることができます。

**オプション1：AXIS Body Worn Manager でカメラプロファイルを介してWi-Fiネットワークを割り当てる -**  
AXIS Body Worn Managerで1つ以上のWi-Fi ネットワークを追加して、異なるカメラプロファイルに割り当てることができます。手順については、6 ページオプション1：AXIS Body Worn Managerでカメラプロファイルを介してWi-Fiネットワークを割り当てるを参照してください。

**オプション2a：AXIS Body Worn Manager でWi-Fiネットワークをカメラユーザーに直接割り当てる -**  
AXIS Body Worn Managerで、カメラユーザーにWi-Fiネットワークを直接割り当てることができます。このネットワークは、カメラプロファイルを通じて割り当てられたネットワークよりも優先されます。手順については、6 ページオプション2a：AXIS Body Worn ManagerでWi-Fiネットワークをカメラユーザーに直接割り当てるを参照してください。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 使用に当たって

**オプション2b：AXIS Body Worn AssistantでWi-Fiネットワークをカメラユーザーに直接割り当てる** - AXIS Body Worn Assistantで、カメラユーザーにWi-Fiネットワークを直接割り当てることができます。カメラユーザーは独自のWi-Fiネットワークを追加することができます。これは、カメラユーザーが多く、個別のWi-Fiネットワークを多数使用する場合に特に便利です。AXIS Body Worn AssistantでWi-Fiネットワークをユーザーに直接割り当てると、そのネットワークは割り当てられた他のどのネットワークよりも優先されます。手順については、[7ページオプション2b：AXIS Body Worn AssistantでWi-Fiネットワークをカメラユーザーに直接割り当てる](#)を参照してください。

### 注

AXIS W100およびAXIS W101 Body Worn Camerasでは、2.4 GHzの周波数帯域のみがサポートされています。

### オプション1：AXIS Body Worn Managerでカメラプロファイルを介してWi-Fiネットワークを割り当てる

1. AXIS Body Worn Managerを開きます。
2. [Settings (設定) - 3. [Wi-Fi networks (Wi-Fiネットワーク)] で、[Add (追加)] をクリックします。
- 4. Wi-FiネットワークのName (SSID) (名前 (SSID)) と Password (パスワード)を入力します。
- 5. [追加] をクリックします。
- 6. [Camera profiles (カメラプロファイル)]  に移動します。
- 7. Wi-Fiネットワークの割り当て先のカメラプロファイルを選択します。
- 8. [Wireless connection (ワイヤレス接続)] パネルを展開します。
- 9. カメラプロファイルに割り当てるWi-Fiネットワークを選択します。
- 10. [Users (ユーザー)] に移動し、Wi-Fiネットワークの割り当て先のカメラユーザーを選択します。
- 11. 適切なWi-Fiネットワークを持っているカメラプロファイルを選択します。

### オプション2a：AXIS Body Worn ManagerでWi-Fiネットワークをカメラユーザーに直接割り当てる

### 注

Wi-Fiネットワークをカメラユーザーに直接割り当てる前に、ストリーミングを有効にする必要があります ([5ページライブストリーミングを有効にする](#)を参照)。

1. AXIS Body Worn Managerを開きます。
2. Users (ユーザー)  に移動し、Wi-Fiネットワークを追加するユーザーを選択します。
3. [Network (ネットワーク)] で、 をクリックします。
4. Wi-FiネットワークのName (SSID) (名前 (SSID)) と Password (パスワード)を入力します。
5. [追加] をクリックします。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 使用に当たって

---

### オプション2b：AXIS Body Worn AssistantでWi-Fiネットワークをカメラユーザーに直接割り当てる

1. AXIS Body Worn Assistantを開きます。
2. [Camera (カメラ)] に移動します。
3. ペンアイコン  をタップします。
4. Wi-Fiネットワーク名とパスワードを入力し、[OK] タップします。

#### 注

この方法でWi-Fiネットワークを追加すると、そのネットワークはカメラプロファイルで追加されたネットワーク、またはAXIS Body Worn Managerでユーザーに直接追加されたネットワークよりよりも優先されます。

### Genetec™Security Centerでデフォルトのブラウザを変更します。

Genetec™Security Centerを使用している場合は、ライブストリームの問題を回避するために、デフォルトのブラウザを変更する必要があります。Genetec™ Security Centerは、デフォルトでGoogle Chrome™ブラウザを使用します。configファイルを編集して、これをMicrosoft Edge®に変更します。

1. コンピューターで、[Program Files (x86)] > [Genetec Security Center 5.11] > [ConfigurationFiles] > [App.SecurityDesk.config] の順に移動します。
2. [Presentation] の [WebBrowserType] を [Edge] に追加するか変更します。

### ストリーミング開始の準備完了

これで、システムの設定に必要な手順が完了しました。12ページ、*日常的な使用*に移動して、ストリームの開始方法をご確認ください。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## システムの設定

---

### システムの設定

#### ユーザーの追加

管理者はAXIS Body Worn Liveにユーザーを追加できます。

1. *My Systems*で組織にユーザーを招待します。詳細については、*My Systems*ユーザーマニュアルを参照してください。
2. ユーザーは招待を受け入れます。すべてのユーザーにはMy Axisアカウントが必要です。
3. 各ユーザーにユーザー権限を割り当てます。詳細については、*My Systems*ユーザーマニュアルを参照してください。AXIS Body Worn Liveで各権限により実行できることについては、9ページユーザー権限を参照してください。

#### 地図へのカメラの表示

オペレーターは、現在ライブビデオをストリーミングしているカメラの地理的位置を表示することができます。そのためには、AXIS BodyWorn Managerで、**[Location (ロケーション)]**を有効化する必要があります。

##### 注

地理的位置を表示できるのは、一部のカメラモデルのみです。

1. AXIS Body Worn Managerを開きます。
2. **[Camera profiles (カメラプロファイル)]**  に移動します。
3. ライブストリーミングを有効にしたカメラプロファイルを選択します。
4. 各カメラモデルで、**[Location (位置情報)]**をオンにします。

#### SOCへの自動通知を設定する

新しいライブストリームが開始されたときにSOC (セキュリティオペレーティングセンター) のオペレーターに通知が届くよう、通知を自動的に送信するようにシステムを設定できます。組織とSOC (セキュリティオペレーティングセンター) 間の接続を設定します。

1. **[Settings (設定)]**に移動します。
2. **[+ New SOC integration (SOC統合の新規追加)]** をクリックします。
3. SOC (セキュリティオペレーティングセンター) のURLを入力します。
4. 必要に応じて、**[Sign messages (メッセージの署名)]** をクリックし、ペイロード署名を入力します。これは、受信側で通知が正しいソースから送信されたことを確認するために使用されます。
5. **[追加]** をクリックします。

受信側での統合の設定手順については、「SOC統合」ドキュメントをダウンロードしてください。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 詳細情報

---

### 詳細情報

#### 組織

組織は、お客様のAxisシステム導入状況を仮想的に表現したものであり、装着式カメラのクラウドサービスの中心に位置しています。

- 組織は、装着式システムをAXIS Body Worn Liveライセンスに接続します。
- 組織は、装着式システムをAXIS Body Worn Liveユーザーに接続します。

組織の詳細については、*My Systems*ユーザーマニュアルを参照してください。

#### ユーザー権限

##### 注

- AXIS Body Worn LiveユーザーはAXIS Body Worn Managerのカメラユーザーとは別です。
- AXIS Body Worn Liveにサインインするには、My Axisアカウントが必要です。

AXIS Body Worn Liveには、3つの異なるユーザー権限があります。

**ビューワー** - 着信ライブストリームを表示して確認します。

**オペレーター** - 着信ライブストリームを表示して確認します。

**管理者** - AXIS Body Worn Liveの設定を管理します。管理者は装着式システムをAXIS Body Worn Liveに接続し、ユーザーを招待して、ユーザー権限を割り当てます。管理者は、着信ライブストリームを表示して確認することもできます。

#### ライセンス

24時間の間にライブストリーミングが有効なカメラプロファイルを持つユーザーに割り当てられたカメラの数 (過去1週間の平均) によって、必要なAXIS Body Worn Liveライセンスの数が決まります。

固定割り当てのカメラ割り当てを使用している場合でも、自己割り当てのカメラ割り当てを使用している場合でも、ライセンスモデルは同じです。

使用するライセンスの数を最小限に抑えるために、ライブストリーミング専用のカメラプロファイルを用意することをお勧めします。

Axisの製品とサービスのライセンスの詳細については、*My Systems*ユーザーマニュアルを参照してください。

#### エンドツーエンドの暗号化

エンドツーエンドの暗号化により、送信元と送信先間の安全な通信プロセスが実現します。エンドツーエンドの暗号化を行うことで、AXIS Body Worn Liveからのビデオストリームにアクセスできるのは意図されている送信先のみとなります。エンドツーエンドの暗号化は、装着式カメラの公開鍵とAXIS Body Worn Liveが実行されるブラウザの秘密鍵という2つの一致する鍵を通じて実行されます。AXIS BodyWorn Liveで鍵を生成し、AXIS BodyWorn Managerに公開鍵を追加します。AXIS Body Worn Managerは、カメラをドッキングした時点で公開鍵をカメラに配布します。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 詳細情報

### 重要

- エンドツーエンドの暗号化は不可欠です。
- 秘密鍵をダウンロードする際にこれをパズフレーズで暗号化することで、セキュリティを一段と高めることができます。鍵をインポートする際に、各オペレーターがパズフレーズを入力する必要があります。
- Cookieや他のサイトデータを削除すると、ブラウザによって秘密鍵が削除されます。閲覧履歴をクリアすると、この問題が発生することがあります。これを回避する1つの方法として、ブラウザでAXIS Body Worn Liveの例外を設定する手段が挙げられます。
- 秘密鍵をダウンロードして保存していない状態で、秘密鍵を紛失した場合は、新しい鍵ペアを生成する必要があります。新しい鍵を生成する前に、AXIS BodyWorn Managerから対応する公開鍵を削除することを推奨します。

### 暗号化キーの再利用

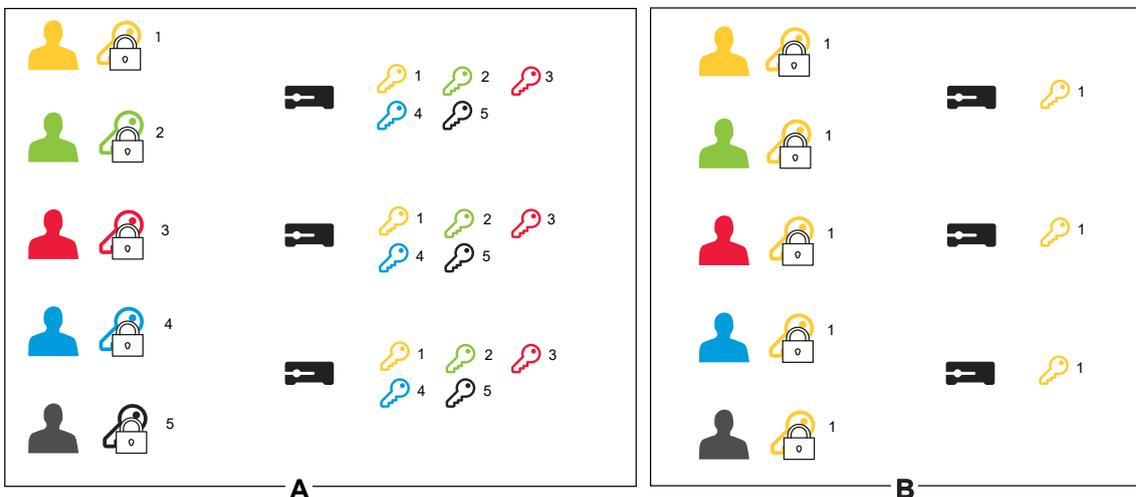
複数のコンピューターやブラウザでライブストリームを視聴する場合、または複数の装着式システムが存在する場合は、すべてのブラウザとシステムで1つの鍵ペアを再利用することで、エンドツーエンドの暗号化に関する管理を最小限に抑えることができます。鍵を再利用することで、AXIS BodyWorn Managerに追加しなければならない公開鍵の総数を減らすことができます。

以下の場合に秘密鍵を再利用することが推奨されます。

- 複数のコンピューターやブラウザでライブストリームを閲覧する場合。
- ブラウザのCookieが定期的にクリアされる場合。

例:

組織に3台の装着式システムが存在し、個別のコンピューターでライブストリームを視聴する5人のオペレーターがいると想定します。



- **オプションA - ブラウザごとに1つの鍵ペア**：5人のオペレーターがそれぞれAXIS Body Worn Liveで1つの鍵ペアを生成します。AXIS BodyWorn Managerの管理者が3台のシステムに追加しなければならない公開鍵は5つとなります。
- **オプションB - 1つの鍵ペアの再利用**：1人のオペレーターがAXIS Body Worn Liveで1つの鍵ペアを生成します。そのオペレーターが秘密鍵を他の4人のオペレーターに配布します。AXIS BodyWorn Managerの管理者が3台のシステムに追加しなければならない公開鍵は1つのみとなります。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 詳細情報

---

### 証拠データとメタデータ

装着式カメラがライブビデオをストリーミングすると、証拠データとメタデータの両方が生成されます。装着式システムをAXIS BodyWorn Liveに接続すると、証拠データを保存する国を複数の国の中から選択することができます。

証拠データ:

- 暗号化されたビデオストリームと音声ストリーム
- 暗号化されたインシデント位置データ

Metadata (メタデータ):

- ユーザーID、ユーザー名、ストリームID、組織IDなどのユーザー関連。
- 開始時刻、終了時刻、期間などのストリーム関連。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 日常的な使用

---

### 日常的な使用

#### 重要

セキュリティ上の理由から、少なくとも6日に1回以上はAXIS Body Worn Liveにカメラをドッキングする必要があります。ライブストリーミングは、6日以内にカメラをドッキングしている場合に限り機能します。

### AXIS Body Worn Liveを開く

1. *AXIS Body Worn Live*に移動します。
2. MyAxisアカウント認証情報を使用してサインインします。

#### 注

- Webブラウザが開いている間は、[AXIS Body Worn Live] タブを閉じて、ログイン状態が維持されています。
- Webブラウザを閉じて、7日以内に再度開かなかった場合はログアウトされます。

### ライブストリームの開始

ライブストリームを開始するには、以下の手順に従います。

1. 装着式カメラの機能ボタンを2回押します。録画LEDが赤色に変わり、カメラのモデルに応じて次のLEDが点灯します。
  - Wi-Fi接続<sup>®</sup> LEDが黄色で点滅し始めます。
  -  が白に変わります。
2. カメラが接続を確立し、AXIS Body Worn Liveにストリーミングを開始すると、カメラのモデルに応じて、次のようにLEDが点灯します。
  - Wi-Fi接続LEDが緑色に変わります。
  -  が緑色に変わります。
3. SOC (セキュリティオペレーティングセンター) のオペレーターがストリームを確認すると、カメラはフィードバックを提供します (12ページライブストリームの表示と確認を参照)。

#### 注

すでに録画済みかどうかに関係なく、ライブストリームを開始することができます。まだ録画していない場合は、ライブストリームと同時に録画が開始されます。

### ライブストリームの停止

ライブストリームと録画を停止するには、録画ボタンを長押しします。ボタンの長押しに必要な時間については、*カメラのユーザーマニュアル*を参照してください。

### ライブストリームの表示と確認

カメラユーザーがライブストリームを開始すると、装着式カメラのユーザー名が [Active streams (アクティブなストリーム)] に表示されます。ライブストリームを表示するには、以下の手順に従います。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 日常的な使用

---

1. ストリーム  に移動します。
2. ビデオストリームを表示するカメラユーザーをクリックします。
3. マップビューとライブストリームビューを切り替えるには、 と  をクリックします。
4. カメラユーザーにライブストリームを開いたことを知らせるには、 をクリックします。カメラが振動して、カメラユーザーに通知します。

## 複数のライブストリームを同時に表示する

隣同士の最大4人のカメラユーザーからのライブストリームを並べて表示できます。カメラユーザーのグループを作成し、ライブストリームを同時に表示するには、以下の手順に従います。

1. ストリーム  に移動します。
2.  をクリックします。
3. グループの名前を入力します。
4.  をクリックして、最大4人のカメラユーザーを選択します。
5. [Create (作成)] をクリックします。
6. ライブストリームを表示するには、グループ名をクリックします。

カメラユーザーをドラッグアンドドロップして、新しいグループを作成すること、および既存のグループにユーザーを追加することができます。

## 最近のストリームを表示する

AXIS Body Worn Liveでは、すべてのストリームが24時間保存されます。最近のストリームを表示するには、以下の手順に従います。

1. 録画  に移動します。
2. ビデオストリームを表示するカメラユーザーをクリックします。
3. 表示するストリームをクリックします。

## 地図へのカメラの表示

現在ライブビデオをストリーミングしているカメラユーザーがどこにいて、どのように移動しているかを知りたい場合は、地図上でカメラの地理的位置を表示できます。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## 日常的な使用

---

### 重要

- カメラの位置を表示するには、AXIS Body Worn Managerで、**[Location (ロケーション)]** をオンにする必要があります。8 ページ地図へのカメラの表示を参照してください。
- カメラでGPS信号を受信できない場合は、カメラの動きを表示することができません。カメラによるGPS信号の受信が停止した場合は、地図の  にインジケータが表示されます。アイコンにマウスを合わせると、位置が最後に更新された日時が表示されます。
- ストリーミングを開始しても、位置を取得していないカメラユーザーは地図に表示されません。

カメラユーザーの位置を地図に表示するには：

1. AXIS Body Worn Liveを開きます。
2. ストリーム  に移動します。
3.  をクリックします。

### 注

- 過去20～30秒間におけるカメラユーザーの移動状況を確認するには、 をクリックして、軌跡をオンにします。
- 複数のカメラユーザーが相互に近い位置にいる場合は、それが地図上でクラスタ化され、クラスタに含まれるカメラの数が数字で示されます。
- カメラユーザーのリストで、ユーザーにマウスを合わせて、 をクリックすると、そのユーザーを中心に地図が表示されます。

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## トラブルシューティング

---

### トラブルシューティング

AXIS W102 Body Worn CameraとAXIS W120 Body Worn Cameraでは、トラブルシューティングモードを使用して問題を解決することができます。次の手順に沿って、モードをオンにします。

1. AXIS Body Worn Managerで、**[Add-on services (アドオンサービス) **] > **[AXIS Body Worn Live]** に移動します。
2. **[Body Worn Live Cloud]** で、**[Show more (さらに表示)]** をクリックします。
3. **[Allow troubleshooting mode (トラブルシューティングモードを許可)]** をオンにします。
4. 装着式カメラで、上部ボタンを2回押します。  
次のページを表示するには、上部ボタンを1回押します。  
トラブルシューティングモードを終了するには、上部ボタンを5秒間押し続けます。

情報は次の形式でページ分けされています。

#### ページ1:

- システム時刻
- ネットワークステータス (Net)
- Wi-Fiまたはモバイルネットワークモード (サブモード: WLANまたはLTE)
- 信号強度 (db)

#### ページ2 - Wi-Fi使用時:

- SSID
- 認証方法 (Auth)
- カメラのIPv4アドレス
- 認証ステータス (Status)
- 接続されているアクセスポイントのMACアドレス

#### ページ2 - モバイルネットワーク使用時:

- カメラのIPアドレス
- ローミングステータス
- SIMステータス
- APN

#### ページ3:

- カメラが使用するネームサーバー

#### ページ4:

- エンドポイントクエリのレスポンスコード

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## トラブルシューティング

### 一般的な問題

| 問題または症状  | 原因   | 解決策   |
|--|--|---|
| AXIS BodyWorn Managerでクラウド拡張機能をオンにできません。   | ネットワーク設定に問題があります。  | AXIS Body Worn Managerで <b>Settings (設定)</b>  > <b>[Network (ネットワーク)]</b> の順に移動して、IPアドレス、DNS設定、プロキシサーバー、ファイアウォールルールなどのネットワーク設定を確認し、装着式システムで接続を確立できることを確認します。 |
| ライブストリームを開始しようとしたところ、身体装着式カメラが反応しません。  | ユーザーのカメラプロファイルでストリーミングがオンになっていません。   | 5 ページライブストリーミングを有効にするを参照してください。   |
|  | お使いのAXIS Body Worn Liveライセンスが有効期限切れです。   | AXIS BodyWorn Liveで、 <b>[Settings (設定)]</b> に移動し、ライセンス情報を確認します。   |
| 装着式カメラがWi-Fi®ネットワークに接続しません。Wi-Fi接続LEDが赤色に点灯します/Wi-Fi警告が表示されます:  | カメラを使用しているユーザーにワイヤレスネットワークが割り当てられていません。  | 5 ページWi-Fiネットワークを追加するを参照してください  |
|  | カメラが6日以上ドッキングされていません。セキュリティ上の理由から、AXIS Body Worn Liveでは少なくとも6日ごとにカメラをドッキングする必要があり、ライブストリームは6日の間隔内にカメラをドッキングした場合にのみ機能します。 | カメラをドッキングして証明書を更新します。   |
|  | ネットワーク名またはパスワードが間違っています。   | ネットワーク名とパスワードが正しいことを確認してください。   |
|  | AXIS W100およびAXIS W101 Body Worn Cameraは2.4 GHzワイヤレスネットワークのみサポートします。  | ワイヤレスネットワークで2.4 GHzの周波数 帯域が使用されていることを確認してください。多くのスマートフォンでは、デフォルトで5 GHz周波数 帯域が使用されません。モバイルホットスポットに接続する場合は、スマートフォンの設定に移動し、2.4 GHz周波数 帯域を有効にする必要があります。   |
|  | Wi-FiネットワークのSSIDが間違っているか、入力されていません。  | Wi-Fiネットワークの正しいSSIDを入力してください。   |

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## トラブルシューティング

| 問題または症状   | 原因  | 解決策  |
|---|---|--|
| モバイルネットワーク経由でビデオをストリームできません/モバイルネットワークの警告が表示されます:   | SIMカードのPINが間違っているか、入力されていません。   | AXIS BodyWorn Managerで、<br><b>Cameras (カメラ)</b>  に移動し、カメラをクリックします。正しいPINを入力します。   |
|   | カメラの電源がオンになっていてドッキングされていないときにSIMカードが交換されました。                                  | カメラをドッキングします。  |
|   | モバイルネットワークとインターネットをつなぐゲートウェイとして、通信事業者が指定するアクセスポイント名 (APN) を入力する必要があります。       | AXIS Body Worn ManagerにAPNを追加します。<br><br><ol style="list-style-type: none"> <li>[Settings (設定)]  &gt; [Camera (カメラ)] &gt; [Mobile networks (モバイルネットワーク)] の順に移動します。</li> <li>[Show advanced (詳細設定の表示)] をクリックします。</li> <li>ネットワークプロバイダーが使用するアクセスポイント名を入力します。</li> </ol> |
|   | ネットワークプロバイダーによってカメラが有効化されていません。   | <ol style="list-style-type: none"> <li>AXIS BodyWorn Managerで、<b>Cameras (カメラ)</b>  に移動し、カメラをクリックして、カメラの国際移動体装置識別 (IMEI) 番号を確認します。</li> <li>IMEIがブロックされていないか、<i>imeicheck.com</i>などで確認してください。</li> <li>IMEIがブロックされている場合は、通信事業者に連絡して許可するよう依頼してください。</li> </ol>       |
|   | SIMカードが破損しています。   | SIMカードを交換してください。   |
| AXIS BodyWorn Liveエラー  が表示されます。  | カメラが6日以上ドッキングされていません。   | カメラをドッキングします。装着式システムが20ページホスト名にリストされているホスト名にアクセスできることを確認してください。  |
| ライブストリームプレーヤーに画像が表示されません。   | 装着式システムの時刻が、AXIS Body Worn Liveを使用しているコンピューターの時刻と異なります。                       | NTPサーバーを使用して、装着式システムとAXIS BodyWorn Liveに使用するコンピューターの両方で日付と時刻を設定します。  |
| ライブストリームが最適に機能しません。   | システムがヨーロッパにあり、システムにAXIS W100またはW101カメラが含まれており、Wi-Fiルーターがチャンネル12または13を使用しています。 | bodywornlive.support@axis.comに連絡し、システムIDとシステムの設置国をお知らせください。  |

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## トラブルシューティング

| 問題または症状  | 原因  | 解決策   |
|--|---|---|
| Genetec™ Security Centerの内蔵ブラウザでライブストリームの問題が発生しています。 | Genetec™ Security Centerは、デフォルトでGoogle Chrome™ ブラウザーを使用します。 | configファイルを編集して、デフォルトのブラウザをMicrosoft Edge®に変更します。たとえば、[Program Files (x86)] > [Genetec Security Center 5.11] > [ConfigurationFiles] > [App.SecurityDesk.config] の順に移動します。[Presentation (プレゼンテーション)] で、「WebBrowserType」を「Edge」に追加または変更します。 |
| AXIS Camera Stationの内蔵ブラウザでライブストリームの問題が発生しています。      | AXIS Camera Stationのバージョンが古すぎます。                            | バージョン5.50以降にアップグレードしてください。  |
|  | Microsoft® Windowsのバージョンが古すぎます。                             | 最新バージョンにアップグレードします。   |

## Wi-Fiの問題

問題: 装着式カメラがWi-Fiネットワークに接続しない。

| 現象  | 原因                                     | 解決策  |
|---|--|--|
| トラブルシューティングモードをオンにすると、サブモードがLTEになる。   | カメラの中にSIMカードが入っています。                   | カメラの電源をオフにして、SIMカードを取り出してください。                                     |
| トラブルシューティングモードをオンにすると、カメラにIPv4アドレスが割り当てられない。  | アクセスポイントでWPA2が許可されていません。               | アクセスポイントでWPA2を有効にします。  |
|   | Wi-Fiネットワークのパスワードが間違っています。             | AXIS Body Worn ManagerまたはAXIS Body Worn Assistantで、正しいパスワードを入力します。 |
| トラブルシューティングモードをオンにすると、アクセスポイントにMACアドレスが割り当てられない。  | SSIDが間違っています。                          | 正しいSSIDを入力します。   |
| カメラのディスプレイに  が表示される。 | カメラがWi-Fiアクセスポイントから離れすぎています。           | カメラをアクセスポイントに近づけて使用してください。   |
| カメラがあるWi-Fiアクセスポイントから別のアクセスポイントに切り替えると、ストリームが遅れることがある。  | これは既知の制限事項です。詳細については、リリースノートを参照してください。 | -  |

## モバイルネットワークの問題

問題: 装着式カメラがモバイルネットワークに接続しない。

| 現象                                   | 原因                    | 解決策                           |
|--------------------------------------|-----------------------|-------------------------------|
| トラブルシューティングモードをオンにすると、サブモードがWLANになる。 | カメラの中にSIMカードが入っていません。 | カメラの電源をオフにして、SIMカードを挿入してください。 |

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## トラブルシューティング

|  |   |  |
|--|---|--|
| AXIS Body Worn Managerで、SIMカードの状態が <b>Unknown (不明)</b> になっている。   | SIMカードが対応していません。  | 通信事業者にお問い合わせるか、別のSIMカードを試してください。   |
| カメラのディスプレイに  が表示される。  | カメラの電源がオンになっていてドッキングされていないときにSIMカードが交換されました。                            | カメラをドッキングします。  |
|  | ネットワークプロバイダーによってカメラが有効化されていません。   | <ol style="list-style-type: none"> <li>AXIS BodyWorn Managerで、<b>Cameras (カメラ)</b>  に移動し、カメラをクリックして、カメラの国際移動体装置識別 (IMEI) 番号を確認します。</li> <li>IMEIがブロックされていないか、<a href="http://imeicheck.com">imeicheck.com</a>などで確認してください。</li> <li>IMEIがブロックされている場合は、通信事業者に連絡して許可するよう依頼してください。</li> </ol> |
| カメラをドッキングすると、AXIS Body Worn Managerに「SIMカードがロックされています」というアラートが表示される。                                   | SIMカードがロックされています。   | PUKコードを使用して新規PINを設定してください。   |
| カメラをドッキングすると、AXIS Body Worn Managerに「PINが正しくありません/入力されていません」というアラートが表示される。                             | SIMカードのPINが間違っているか、入力されていません。   | AXIS BodyWorn Managerで、 <b>Cameras (カメラ)</b>  に移動し、カメラをクリックします。正しいPINを入力します。  |
|  がカメラディスプレイに表示されない。 | 通信事業者が、カメラがサポートしているLTEバンドをサポートしていません。                                   | カメラのデータシートに記載されているLTEバンドと、通信事業者の対応バンドを比較してください。  |
|  | カメラが電波塔から離れすぎています。  | カメラを電波塔に近づけて使用してください。  |
| トラブルシューティングモードをオンにすると、カメラにIPv4アドレスが割り当てられず、APNも表示されない。   | モバイルネットワークとインターネットをつなぐゲートウェイとして、通信事業者が指定するアクセスポイント名 (APN) を入力する必要があります。 | AXIS Body Worn ManagerにAPNを追加します。 <ol style="list-style-type: none"> <li><b>[Settings (設定)]</b>  &gt; <b>[Camera (カメラ)]</b> &gt; <b>[Mobile networks (モバイルネットワーク)]</b> の順に移動します。</li> <li><b>[Show more (さらに表示)]</b> をクリックします。</li> <li>ネットワークプロバイダーが使用するアクセスポイント名を入力します。</li> </ol>    |

# AXIS Body Worn Live Axis-hosted

## トラブルシューティング

|   |                                |  |
|---|--------------------------------|--|
| トラブルシューティングモードをオンにすると、カメラにIPv4アドレスが割り当てられず、ローミングが無効になる。 | モバイルネットワーク契約で、ローミングが無効になっています。 | <ol style="list-style-type: none"><li>1. カメラをドッキングします。</li><li>2. モバイルネットワーク契約でローミングを有効にします。</li></ol> |
| トラブルシューティングモードをオンにすると、カメラにIPv4アドレスが割り当てられる。             | データ転送用のクレジットが不足しています。          | ネットワークオペレーターにお問い合わせください。   |

## ホスト名

以下は、AXIS Body Worn Liveを設定して使用する際に、装着式システムがアクセスできる必要のあるホスト名です。ポートは常に443です。

### グローバル

| ドメイン                            | 情報                    | デバイスタイプ                             |
|---------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| *.mysystems.axis.com            | Webアプリケーション。          | クライアント (Webブラウザ)                    |
| *.bodyworn.axis.com             | 装着式システム固有のAPI。        | クライアント (Webブラウザ)、装着式カメラ、システムコントローラー |
| *.bodyworn.axis.cloud           | 装着式システム固有のAPI。        | システムコントローラー                         |
| *.axis.com                      | 共通のAxis API。          | クライアント (Webブラウザ)、システムコントローラー        |
| axisbwsprod.webpubsub.azure.com | アプリケーションデータ用のWebソケット。 | クライアント (Webブラウザ)                    |
| axisbws-prod.azure-devices.net  | 装置とクラウド間のアプリケーション通信。  | 装着式カメラ、システムコントローラー                  |

### 地域別ストリーミングストレージ

| ドメイン  | 地域      | デバイスタイプ                 |
|---|---------|-------------------------|
| axislive31517ebf9edd88f9.blob.core.windows.net  | 米国東部    | クライアント (Webブラウザ)、装着式カメラ |
| axis-live1c7751f2e2c4df77.blob.core.windows.net | 米国西部    |                         |
| axis-livee6dc2820e149af9f.blob.core.windows.net | EU      |                         |
| axislive980d6ba8adbbf223.blob.core.windows.net  | オーストラリア |                         |
| axislive9280c1821b19cd35.blob.core.windows.net  | カナダ     |                         |
| axislive5894d7bc3cd547d1.blob.core.windows.net  | インド     |                         |

## AXIS Body Worn Live Axis-hosted

### トラブルシューティング

---

|  |      |
|--|------|
| axislive09082556af5ba7de.blob.core.windows.net | フランス |
| axislive8adf5397b85a521e.blob.core.windows.net | ドイツ  |
| axislive7411d120eb3dc484.blob.core.windows.net | スイス  |
| axislive39b4a3a4e44aa1f5.blob.core.windows.net | イギリス |
| axislivef1c7db59e587d874.blob.core.windows.net | 日本   |

